# これってどうなの？？ 人ごみ編

「私」の前に立っていた女性に、足を踏まれた。「痛い!!」と顔をあげると、彼女と目があったが無言のまま。「あー、こんなにオシャレなOLさんが、お詫びの言葉も言えないのか」。とんと久しく、「失礼しました」「すみません」という言葉を聞いていない。いつも、自分ばかりが言っているように感じる。

近頃、人との距離感を持てない人が多くなった。座席でメールやゲームをしている人は、隣の人に肘があたっても平気。横断歩道で、行き交う人の腕があたっても何事もなかったかのごとく通り過ぎる人。

なんだろう。みんな感覚がマヒしているのだろうか。

そうでもないらしいのは、自分が足を踏まれ、キッと睨み返したり、文句を言う人はいるのだ。自分がされたら嫌なのに、人にするのは平気な様子。

人と人をつなぐのは、言葉。日本には、感情を表す言葉がたくさんある。お詫びの言葉も「すみません」「失礼しました」「申し訳ありません」「ごめんなさい」「お許しください」「ご迷惑をおかけしました」等々。使い方も立場が対等の相手に謝罪する場合、目上の人に謝罪する場合と、言葉を使い分けているが、何よりも一番大事なのは心からのお詫びの気持ちではないだろうか。

言葉の使い方を云々する気は毛頭なく、お詫びの気持ちが声や顔に現れるだけで、痛みが消えるような気がする。

言葉をかけずらかったら、ごめんなさいの会釈でもしていただけたらと思う今日この頃である。

〈事務局長 山橋由貴子〉

イラスト／安彦麻理絵

## 6月13日は“「小さな親切」の日” 身近な親切を見つけて発信しよう!

「小さな親切」運動の発足は、昭和38（1963）年6月13日。当時の東京大学総長・茅誠司（かやせいじ）氏が卒業告辞で“「小さな親切」を勇気を持ってやっていただきたい”と呼びかけたことがきっかけです。一人ひとりが、「小さな親切」を積み重ねることで、思いやりのあるあたたかな社会をつくっていこう、というメッセージが込められています。

今年は、発足から55周年のメモリアルイヤー。6月13日、あなたも「小さな親切」の発見者になってください!

### ①「小さな親切」をテーマにした写真を大募集！

人物、風景、モノ、料理など、親切や思いやりを感じる写真なら、なんでもOK！
優秀作品には、「小さな親切」オリジナルグッズをプレゼントいたします。

**募集期間**：平成30年5月1日（火）～6月13日（水）
**発　　表**：「小さな親切」運動WEBサイト・情報誌「小さな親切」夏号（8/1発行）
**送 付 先**：（郵送の場合）〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-20-4
「小さな親切」運動本部 親切写真係
（データの場合）skm1963@kindness.jp

### ②「＃小さな親切」をつけて、写真やエピソードをSNS（Instagram、twitter）に投稿しよう！

親切に関する写真やエピソードを共有して、SNS上をあたたかな投稿で埋め尽くしましょう。

**実施日**：平成30年6月13日（水）

エレベーターの中の落し物。落とした人が見つけやすくする#小さな親切

※上記の応募写真及び「#小さな親切」のハッシュタグが付いている投稿は、当情報誌、「小さな親切」運動のWEBサイト、SNS（Facebook、Instagram、twitter）等に掲載することがありますので、予めご了承ください。